

総合学科交流会

9/20(水)午後、仁摩農村環境改善センターを会場に、令和5年度島根県高等学校総合学科交流会が開催されました。この会は、昨年度までは総合学科研究発表会として年度末に開催していたものを、今年度からその名称を交流会へ改め、年度途中に開催することでその後の探究学習や課題研究等に生かそうと企画されたものです。

会では、ファシリテーターの高大連携推進員・吉崎聡一さんの進行の下、総合学科を置く県内4高校（松江農林・三刀屋・邇摩・益田翔陽）より2つずつ発表があり、参加者は良かった点をカードに記載し、最後に言葉を添えて発表者に渡す方法で交流を深めていきました。邇摩高校からは3年生4名が参加し、以下の内容で発表を行いました。

タイトル：「仁摩の海岸のゴミを減らすために私たちにできること」

発表者：寺本一葉、樋野朱香、樋野朱里

タイトル：「仁摩・温泉津をもっと広めたい」

発表者：西村琉佳

参加していた生徒たちは、最初は緊張した面持ちでしたが、会が進んでいくうちに緊張も解け、最後はお互いに笑顔で交流を深め合っている様子がとても印象的でした。

